



お元気ですか 第50号

開院20周年記念式典



平成21年11月29日 ホテルニュー銀水に於いて
地域の方 医院・診療所 官公庁の方々をお招きし 健育会本部・各健育会施設も参加し 総勢120人が集いました。
地域医療に深く関わりのある講師をお招きして、講演会や西伊豆病院20年のあゆみ・歴史の紹介や健育会施設の紹介など、4時間にわたり取り行われました。

西伊豆に救急病院ができるまで

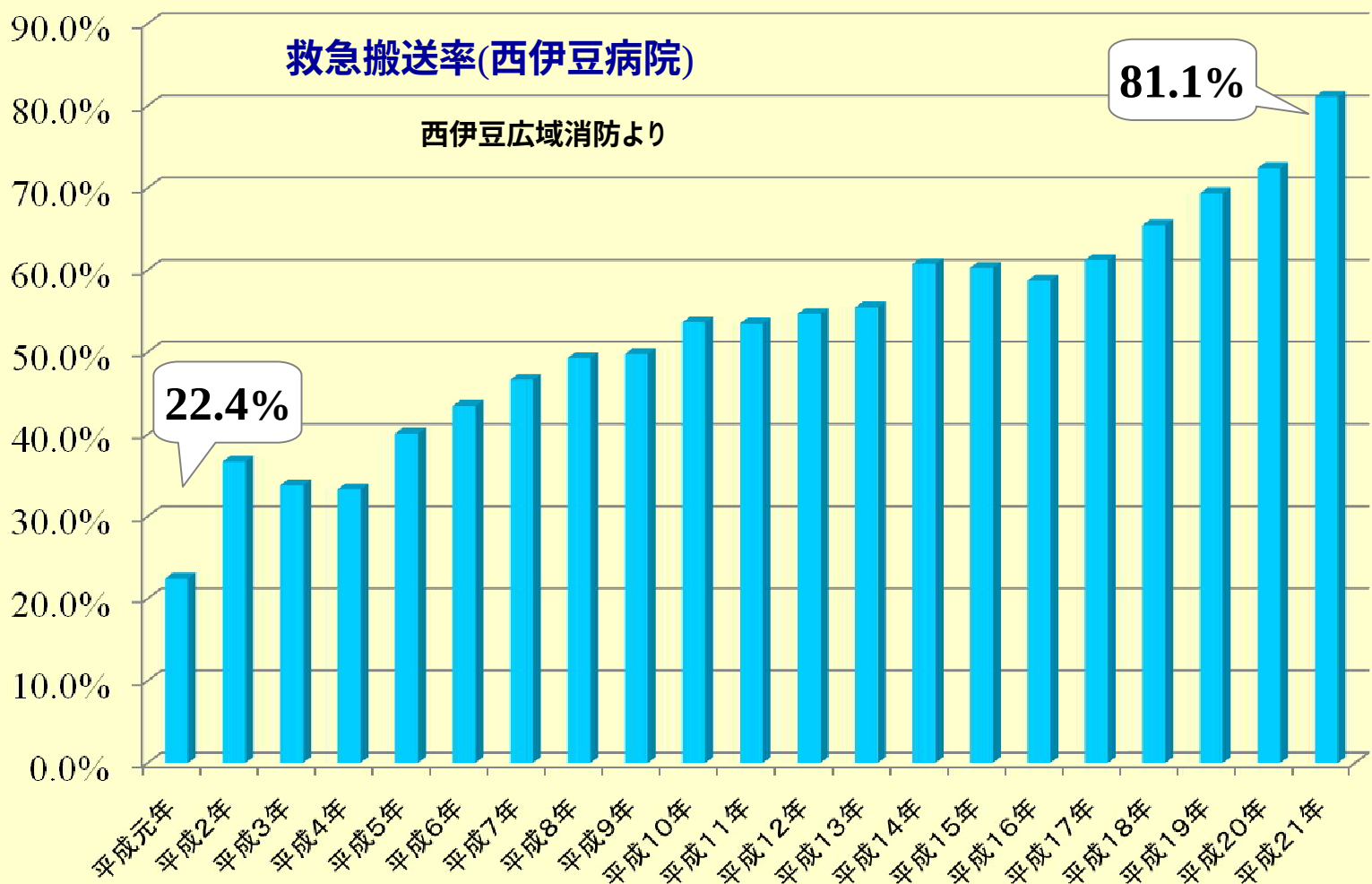
20年前の健育会は、現在の理事長のお父上が理事長を務めており、2つのリハビリ中心の病院を運営していました。

現在の理事長は、大学病院で消化器内科という、内科の中でも救急患者さんを多く診る部署にいたので、その経験を生かして救急病院の運営に取り組みたいと考えていました。

当初は埼玉県に救急病院を検討していたところ、西伊豆地区で救急搬送中の患者さんが出血多量で亡くなるという事故があり、マスコミでも報道されました。医療過疎地と言われていた西伊豆地区では、救急車で峠を1時間以上かけて越えなければ救急病院まで到着できないのが現状でした。

このような状況より、西伊豆町だけでなく県をあげて病院誘致をしているという情報を聞き、望まれた地域で開いたほうがよいのではないかと、急遽計画を変更して、この西伊豆町に開設する運びとなりました。

西伊豆地区における西伊豆病院への救急搬送率の推移



開院当初22.4%であった救急搬送率も21年度には80%を超えました。

《当院への救急搬送率の推移より》

西伊豆病院では『救急は断らない』という姿勢を院内において常に周知し貫いてまいりました。

西伊豆地区 唯一の救急病院として、広域消防の管轄を全て受け持ち、救急隊と密な連携をとり、20年間ともに地域に密着した救急医療を支えてきた実績です。

今後も、医療崩壊を防ぎ地域医療にますます貢献していきたいと思ひます。

西伊豆病院 沿革



平成 元年 7月	西伊豆病院開設・竹川節男 院長に就任 救急指定病院としてベット数60床
平成 2年 2月	健診部門設立
平成 2年10月	付属施設として腎センター設立 人工透析 ベット数 5床
平成 3年 3月	人工透析 ベット数 5床より7床に変更
平成 3年 8月	THP労働省健康保持増進サービス機関認定取得 健診部より健康管理室へ名称変更
平成 5年 6月	ゆうあい訪問看護ステーション設立 (松崎町)
平成 6年 4月	管理棟新築 人工透析 ベット数7床より12床に変更
平成 6年 8月	仲田和正 院長に就任
平成 7年 4月	人工透析 ベット数12床より15床に変更
平成 7年 6月	西伊豆病院付属 土肥クリニック設立 (ベット数19床)
平成 7年11月	西伊豆病院 リニューアルオープン
平成 8年 3月	西伊豆病院 看護師寮完成 (15室)
平成 9年12月	ヘリカルCT更新
平成10年 5月	(財)日本医療機能評価機構「一般病院種別A」Ver.2 認定
平成11年 4月	入院オーダリングシステム導入
平成12年 4月	介護老人保健施設しおさい設立
平成15年12月	(財)日本医療機能評価機構「一般100床未満」Ver.4 認定
平成17年 4月	看護支援システム導入
平成17年 6月	MRI導入
平成17年 9月	増築・増床により78床としてリニューアルオープン 人工透析 ベット数15床より20床に変更
平成19年 9月	厚生労働省 協力型臨床研修病院の指定
平成20年 8月	(財)日本医療機能評価機構「一般100床未満」Ver.5 認定
平成21年 7月	DPC導入
平成21年11月	ゆうあい訪問看護ステーション 管理棟2階へ移転

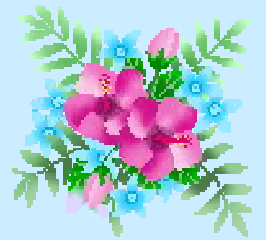


記念講演 I

< 講師 >

平井 愛山 先生

(千葉県立東金病院 院長)



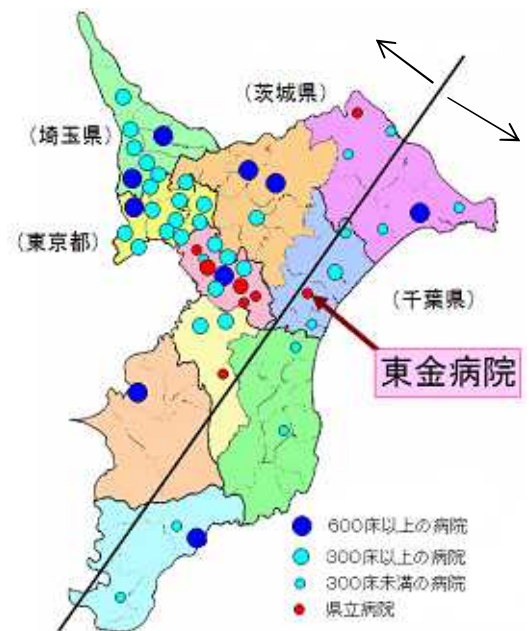
地域の力で 地域の病院を再生しよう

【千葉県東部の地域医療の崩壊とその背景】

千葉県下の医療機関のうち、600床以上の大規模病院は大部分が千葉市以西に分布し、以東の九十九里浜沿岸部では、複数の中小病院はあるものの、大規模病院は、旭中央病院と亀田総合病院の2つのみです。千葉県以西と比較して以東は、医療提供体制に大幅な格差があります。

九十九里浜沿岸部の医師数は、全国平均の半数以下で千葉県下でも最低にあります。

東金病院の医師数も平成16年21名・平成17年17名・平成18年には10名と減少していきましました。特に内科の医師数については10名から2名に激変しているのが現状です。



何故医師が減ってしまったのか？

医師供給体制の急激な変化と医師確保問題の発生！

大学病院からの医局医師の派遣が減少した。その理由に、新臨床研修制度が開始された為、大学に残る研修医が減少し、医師派遣が厳しくなってしまった。

新臨床研修制度により、新人医師が自分で研修先を選ぶ事ができるようになった。すると、大学に残り学位取得より専門医取得を目標にし、指導体制や研修プログラムの良し悪しで選択されているのが現状です。

【本質は医師不足問題】

医師が減ってしまうと、一人の医師にかかる負担が増え、救急受け入れや入院の受け入れが悪くなります。加えて新制度の導入により、さらに医師が減ってしまい悪循環がおこり、地域医療の崩壊へ繋がっていきます。地域医療の再生には、**医師に魅力ある地域づくり・病院づくりが必要不可欠**です。

【地域医療の再生に向けた取組み】

- ＊行政と連携して、地域医療を支える人材育成仕組みづくりに着手し、専門医ライセンス取得可能な認定研修病院への転換をはかり、指導医・レジデント医・研修医の3層構造にすること。
- ＊医療機関の機能分担の明確化をはかり、連携パスを核にした強固な次世代の医療連携体制を構築する。

臨床研修病院として教育機能を充実させることで
医師を大学から派遣してもらう時代から、医師を病院で育てる時代へ！

東金病院の医師育成の取り組み・・・専門医育成制度を活用し、研修医の受け入れは
19年度には7名だったのが21年度は15名と増加しています。

記念講演 II

< 講師 >

藤本晴枝 先生

(千葉県東金市 NPO法人地域医療を育てる会理事長)



《 橋を架けよう 》

～NPO法人地域医療を育てる会の取り組み～



【地域医療を育てる会を立ち上げるまで】



- * 急な病気でも受け入れる病院が近所がない
- * 身うちの死によって、地域情報冊子に記事を書く
- * 女性専用外来を取材 (千葉県立東金病院)
- * 千葉県立東金病院・院長との出会い・・・医師不足の背景や現場の過酷な状況
- * 地域医療センターシンポジウムに参加

住民と行政・医療の間の関係に強い不安を感じた！

「誰かが何とかしてくれる」ではなくて「自分に出来る事は何か」



対話する地域医療を育てる！ 情報発信と対話の場作り！ として発足

【活動内容】

- 1) 医療の現状伝える情報誌「クローバー」の発行
地域の方にも分かりやすく、医療現場の実情が記載されており、新聞記事などには載っていない、しかるべき理由が理解できる。
- 2) 「くませんせいのSOS」絵本の発行
地域医療の医師不足・過酷労働を理解できる絵本になっている。
子供にも分かるように、医療に関心のない人にも医療の問題が伝わるような絵本。
- 3) 対話の場作り
医師の研修にコミュニケーションスキル研修を東金病院と協働で行う。ちゃんとコミュニケーションができる医師に診てもらいたい。住民が医師を育てる。



【橋をかけよう】

いままでの橋は**一方通行**！ 住民が受益者として要望を言い、医療・行政が要望に答える。

医療再生の為の橋は**相互通行**！ 住民が医療・行政の課題や取り組み理解し、住民もプレーヤーとして医療再生に参画する。

自分が変われば地域が変わる！ 地域が変われば医療が変わる！

記念講演 III

西伊豆ゼミ

発起人 伊東直記
幹事 小木曾達也
幹事 端山智充

『マナビを通して地域を元気に！』

西伊豆ゼミは、私たちの地域を住みやすくするために、地域の持続性にかかわることについてマナビながら問題解決の糸口をみんなで考えていく任意団体です。

参加者は出身・職種・年齢・性別などにこだわらず、この地域で起こっているさまざまなことについて語り合うことで問題点を明確にしたり、改善案を考えたり、実際に行動することで地域への学びを深め、お互いが元気になる場を創造することを目的にしています。



＜これまで実際におこなわれたゼミ内容を紹介します＞

- ①『地域医療今昔ものがたり』
地域医療について病院医師と地域の住民が共にマナビ考える機会を持ちました
- ②『川のり採り体験』
実際に川ノり採りを体験し、加工試食することで地場産品について知る機会をつくりました
- ③『らくらく介護トランスファー』
介護に必要な移動理論を体験しあう機会を持ちました

※ 4月には「死について考えてみよう」を予定しています。

今後も地域医療の崩壊を食い止めるための活動や医療・介護などの社会保障についてはもちろんのこと、地域経済や海や山・川など自然資源へのマナビも力を入れていきたいと考えています。

『地域が住みやすく、元気になる』それが西伊豆ゼミのミッションです！

その歩みは、はじまったばかりですが、伊豆に暮らす全ての人々がポジティブで創造的で、自分達の住む地域に誇りを持ち続けられる、そんな未来を実現することを願い今からワクワクしています。

そしてそのためには、西伊豆ゼミの内容充実と活動自体も創造的でいきいきとした魅力あふれるものでありたいと思っています。



西伊豆ゼミの活動にご関心をお持ち頂いた皆様や、今後西伊豆ゼミの活動に参加をしたいという皆様は、会員登録をお願いします。

登録・お問い合わせ：電話090-7034-9623 伊東直記



御礼のご挨拶

この度は、西伊豆病院 開院20周年という節目の年を無事迎えることが出来ましたのも、ひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

この式典の中で、開院より多大なるお力添えを頂いている近隣医院・診療所の先生のお言葉や、地域医療の発展にご活躍されている先生方のご講演を拝聴し、この西伊豆地域での医療・介護においては、皆様方との協力関係をより一層強化させていく事が重要であると再確認致しました。

今後、地域医療のモデルとなるよう精進してまいりたいと思います。皆様の変わらぬ ご支援 ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

西伊豆病院 院長 仲田和正

【関連施設 ～健育会グループ～】



熱川温泉病院



お問い合わせは TEL 0557-23-0843

自然環境と人間性の融合。質の高いリハビリテーションと確かな医療を提供する新時代のリゾート・リハビリテーション・ホスピタル。

豊かな自然に恵まれたリゾート環境で、良質な温泉を活かした施設と充実したアメニティを備えリハビリテーションを中心にした新しい考え方の病院です。最高の環境でじっくりとリハビリテーションに専念したいというニーズに応える為、あらゆる職種が協同し徹底したチーム医療を実践しています。



土肥クリニック



お問い合わせは TEL 0558-99-1234

土肥地区では、唯一入院施設を有しており、地域の開業医など医療機関と連携して地域医療の質の向上に努めています。

西伊豆病院の医師が土肥クリニックで外来診療を行なっております。西伊豆病院 院長「仲田」は火曜日・午後外来を担当し、泌尿器科医師「吉田」は水曜日・午後外来を担当しています。



介護老人保健施設



しおさい 入所のご相談は TEL 52-3000 (入所担当まで)

地域の要介護高齢者の一日も早い家庭復帰と社会復帰を支援する施設です。在宅復帰へ向けたネットワークを構築し、最適の療養環境で最善のケア・リハビリテーションを提供。利用者の方々が心身ともにリフレッシュでき、楽しく有意義な生活が送れるよう支援します。

施設内行事も充実しており、毎月の「お誕生会」に、これからの季節ですと、3月には「雛祭り」 4月には「お花見」といった四季折々の行事を行うことで利用者さまと共に季節を感じることができます。



ゆうあい訪問看護ステーション お気軽にお電話下さい TEL 52-5111

訪問看護は、病気や障害をお持ちの方や高齢者が住み慣れた家で、安心して療養生活を送れるように支援する看護サービスです。看護行為は主治医の治療方針に沿って行われます。また、介護されているご家族に、さまざまな面からアドバイスや支援もいたしますので、安心してご利用いただいています。

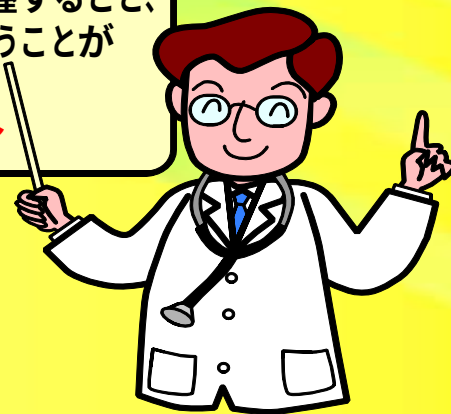
脳ドック

当院で実施中



●あなたの脳は大丈夫？
脳の病気は自覚症状が
あらわれないことも多々あります。
脳ドックでしっかりと検査を行い、
より詳しい脳の状態を把握すること、
早期発見、早期治療を行うことが
とても重要です。

費用⇒15,000円～



お問合せ：0558-52-2366
お申込み：西伊豆病院 健康管理室
担当：鈴木由美

お手軽レシピ

豚肉と青菜だけのシンプルな具が食べやすい！

かんたん中華丼（4人分）

材料（4人分）

豚バラ薄切り肉・・・300g	チンゲン菜・・・2束
油・・・大さじ1	水・・・2カップ
中華スープの素・・・小さじ2	片栗粉・・・小さじ2 水で溶く
ごま油・・・少々	A [酒・・・大さじ2
ごはん・・・丼4杯分	
	こしょう・・・少々

作り方

- ①豚肉は3cm幅に切る。チンゲン菜は葉を1枚ずつはがし、3～4cm長さに切る。
- ②フライパンに油を熱して豚肉を炒める。色が変わったらチンゲン菜を加えてさっと炒め、水と中華スープの素を加えて煮立てる。
- ③Aを加えて混ぜ、具材をフライパンの端に寄せる。水溶き片栗粉をスープの部分に加え、よく混ぜてとろみをつける。ごま油を回し入れて火を止める。
- ④器にご飯を盛り、③をかける。



1人分

715Kcal

調理時間 15分

西伊豆病院 栄養科

『お元気ですか 第50号』

平成22年3月 発行

発行

医療法人社団健育会 西伊豆病院 マーケティング委員会

〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科138-2 TEL 0558-52-2366

ホームページ

<http://www.nishiizu.gr.jp/index2.html>

